

第25回例会報告(1月12日)

【出席報告】

・会員数 61名
 ・当日出席率 71.43%
 ・出席数 36名
 ・前々回修正出席率 98.04%
 ・欠席数 25名
 ・欠席率 41.16%

<欠席会員> 青野、天野、原田、檜垣(俊)、檜垣(巧)、飯、伊藤、菅、川上、小島、光藤、宮本、村上(裕)、竹田、吉武

[免除会員] 原(真)、原(竜)、近藤(憲)、松本、村上(敬)、中川、佐伯、坂本、白石(天)、八木

<12/22欠席補填> (12/13松山)飯 (12/19今治北)青野、原(竜)、日浅、飯沼、伊藤、金森、冠、久米、西信、越智(務)、酒井、矢野 (12/20今治南)檜垣(圭)、檜垣(巧)、尾越 (12/20高松東)川上 (12/20IAC)越智(節) (12/26今治北)原田、平尾、村上(修)

会長報告・宇高司郎会員より12月末日で退会届が提出され、理事会で協議した結果退会届を受理致しました。

・1月28日(土)に開催致しますIMが近づいて参りました。各委員会の開催を宜しくお願い致します。

・ガバナーエレクトを輩出しております今年度地区大会には、現在34名のご出席を頂いておりますが、後、5名ほどのご出席をぜひ宜しくお願い致します。

幹事報告・回覧物：2月16日(木)職場訪問例会(今治コンピュータ・カレッジ)出欠回覧、3月21日(火)3RC合同植樹出欠回覧、第3回ゴルフコンペ出欠回覧、観音寺RC創立45周年記念誌「バラが咲いて」。

ロータリー情報委員会アワー

高木幹男ガバナー補佐 掛水ガバナーの「何かやろうよ」という呼びかけで四国アイランドリーグの応援をしようということになった。「I serveと We serve」・・・最近個人から団体に変わった。当然のように「We serve」が使われ、私には馴染み難い。これまでガバナー補佐として各種行事に参加してきた。補佐の研修会に4回。短期留学生の選考・送り出し。青少年交換生の受け入れ。宇和島でのIAC。米山協議会。第1分区の9クラブ訪問。禁煙例会の呼びかけをして9クラブ中、6クラブが応じて頂いた。またIMの宣伝もし、クラブ協議会では「決議23の34」についても申し上げた。9つのクラブはそれぞれ違った雰囲気があり、異なっていることが魅力に思える。各クラブを3回訪問して来た。まだ半年ありますが、今月のIMでも大変お世話になります。

大澤正尚委員 スマイルBOX(ニコニコ箱)のことは手続要覧等にも規定、条項は1行も載っていない。日本固有の制度だ。目的を決めたBOXは外国にもある。1936年に大阪クラブが始めたとも言われているが、1936年9月30日の東京クラブが初めてのようだ。一般的概念としては、『例会場で会員が自由意志で善意の寄付金を入れる箱。会員の祝い事等をニコニコしながら披露し喜びを分かち合い、また失敗をしたり迷惑をかけたときもユーモアたっぷりに苦笑し、例会をにぎわさせ、集まったお金は主として奉仕活動に使われる』とある。使途については、最終的には各クラブの理事会で決めればよいと感じています。

門田精二委員長 「I serveと We serve」に関連するお話をします。「決議23の34」の趣旨は『各ロータリークラブは奉仕活動を行うにあたっては完全な自主独立性を有すること。集団的に行うクラブの奉仕は個人奉仕の実習として意義がある』とある。これは1923年のセントルイス大会で決議された34号議案のことだ。職業奉仕派(I serve)と社会奉仕派(We serve)が対立しロータリーは分裂の危機に陥った。(1917年、「We serve」を目的とするライオンズクラブが誕生した。)ここでロータリーを大同団結させたのが社会奉仕について触れた「決議23の34」だ。その後、RIは奉仕の方向について右往左往し、1974年に理事会は基本指針を発表したにもかかわらず、RIは1978年には3Hプログラムを、1986年にはポリオプラスプログラムを採用した。1984年版の手続要覧からRIは「23の34」を削除したが、日本を中心とした各国から反対があり、1986年版から復刻され今日に至っています。

<来訪ロータリアン> 今治南RC・平尾史郎氏

次回例会

【新年家族例会】

日時：1月19日(木) 18:30~
 場所：国際ホテル2F・ダイヤモンドの間

<会員誕生日> 越智 健司氏(1/19) 竹田 春夫氏(1/20)
 伊藤 良臣氏(1/24)
 <夫人誕生日> 白石 天三氏(1/16) 川上 昭一氏(1/22)
 <結婚記念日> 平尾浩一郎氏(1/20)
 <入会記念日> 佐藤 晃一氏(1/23)